

9月9日は救急の日

尊い命を救うために救急車の適正な利用を

☎ 消防署 ☎ (92) 1311

上半期（1～6月）の救急出動件数999件

救急業務や救急医療に対しての理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、昭和 57 年から毎年9月9日は「救急の日」と定められています。

市消防署では、現在3台の救急車で救急出動に備えています。出動件数は、昨年の上半期（1,146 件）に比べると減少していますが、緊急性がないと思われる救急出動もあります。そのために、命の危険がある重症患者への対応が遅れてしまうことも考えられます。

尊い命を救うために、救急車の適正な利用をお願いします。



救急車を呼ぶかどうか迷ったときは 全国版救急受信アプリ「Q助」

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応（「**いますぐ救急車を呼びましょう**」、「**できるだけ早めに医療機関を受診しましょう**」、「**緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう**」または「**引き続き、注意して様子を見てください**」）が、緊急性をイメージした色とともに表示される無料アプリが開発されました。



- スマートフォンから
「App Store」や「Google play」で「Q助」で検索してダウンロード可能です。
- Web から
総務省消防庁ホームページの「Q助」Web 版で利用できます。



9月10日は下水道の日

マンホール 町をきれいに するとびら（令和2年度 下水道推進標語）

☎ 上下水道課 ☎ (93) 5349

市では、9月10日の「下水道の日」を中心に、公共下水道が整備された地域で、まだ下水道に接続していない家屋を対象とした、接続のお願いの戸別訪問などを行います。

この機会に、下水道の意義や役割を一緒に考えてみませんか。

下水道への速やかな接続を

公共下水道が整備された区域内では、土地の所有者や借地権者は、速やかに排水設備を設置することが、法律により義務付けられています。

整備地区内でまだ下水道に接続していない人は、早急に接続をお願いします。

整備区域内のくみ取り式などのトイレは、公共下水道が整備されてから3年以内に水洗トイレへ改造しなければなりません。

また、整備区域内では、浄化槽を使用している人も、直接下水道に接続することが必要です。

接続するときは市へ届出を

公共下水道へ接続するときは、市への届出が必要です。

接続にあたり、工事が一定の技術水準で正しく行われないと故障の原因となりますので、必ず市指定下水道工事店へ依頼してください。

井戸水を使用している人は

家庭で使った井戸水を、井戸メーターを設置せずに公共下水道へ流している人で、使用人数に変更があった時は、下水道使用料も変更になります。必ず届出をしてください。

また、井戸メーターを設置している人は、定期的にメーターを交換してください。（計量法により有効期間は8年）

※交換費用は個人負担です。

自然と暮らしを守るためにできること

- 台所では
下水道管やマンホールに油や食材などが付着すると、下水道管の詰まりや故障の原因となります。天ぷら油などの食用廃油や野菜くずなどを流さないようにしましょう。
- 水洗トイレでは
タバコなどトイレトペーパー以外の異物を流さないようにしましょう。土砂や木片なども、下水道管の詰まりや故障の原因となります。また、廃油などの揮発性の高い危険物は、下水道管の中で爆発する危険性がありますので、流さないようにしましょう。
- 宅内排水設備の管理は
宅内ますは、個人の管理です。定期的に点検し、清掃しましょう。特に、飲食店などを営業している人は、こまめに清掃しましょう。
- 汚水管への雨水流入に注意
市の下水道は、汚水と雨水を分けて処理する分流式です。汚水管に雨水が流れ込むと、汚水が流れなくなったり、汚水があふれたりすることがあります。宅地内における誤接続や、排水設備の老朽化による雨水の流入を発見したときは、早急に改善しましょう。
- マンホールの蓋は
雨の日に宅地内や道路に溜まった雨水を流すために、マンホールや汚水ますの蓋を開けることは、転落など思わぬ事故を起こす原因にもなり、とても危険です。雨水を流すためにマンホールなどの蓋を開けることはやめましょう。